

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	①生徒が主体的に学習に取り組み、分かることが実感できるような、組織的な授業改善を推進する。 ②外部の教育資源を活用した幅広い教育課程を編成する。	①組織的な授業改善の目標を「生徒主体の授業展開」と定め、生徒が主体的に参加でき、チームティーチング方式を生かす展開方法を迫及する。	①総合学科の特性を活かし、チームティーチングによる授業展開など、生徒が主体的に参加できる環境を整備し、生徒それぞれの理解力やペースに合わせた課題設定や指導を行う。	①生徒による授業評価の項目6「生徒一人ひとりに目を配った、きめ細かい指導がなされている」の評価が、3.6以上(4点満点)になったか。
2 生徒指導・支援	①個々の生徒の状況掌握と情報共有によるきめ細かな指導体制を推進する。 ②自己肯定感の醸成による問題行動の未然防止に努める。	①支援のあり方について理解を深め、生徒一人ひとりの情報を的確に把握して課題解決にあたり、ケース会議での情報や支援の手法が職員間で共有する。	①個々の生徒の状況等を把握し、教職員間の情報共有と共通理解を図る。また、頻度の高いケース会議等の開催により、スクールカウンセラー等の専門家や外部関係機関、専門機関との連携を図る。	①ケース会議を8回以上(昨年度6回)開催し、支援方針を全職員に周知し共通理解することができたか。
3 進路指導・支援	①基本的な学力を充実・向上させ、進路希望を達成させる。 ②社会人としての自覚と勤労意欲を育成する。	①社会人として必要な要素を理解し、自覚を持って社会へと出られるよう支援する。	①外部講師による「産業社会と人間」の授業等の回数を昨年度よりも増加させ、職種による必要な知識の違いを理解させる。	①外部講師による授業展開の回数や内容が昨年度より多く充実したものであったか。
4 地域等との協働	①保護者や近隣地域との協力体制を推進し、教育活動を積極的に外部に発信する。	①地域清掃等の地域貢献活動によって、近隣地域に信頼される取組を進める。 ②コミュニティ・スクールのシステム構築を図る。	①地域貢献活動等の機会に、全生徒を積極的に参加させ、事後アンケートにより、生徒の自己肯定感について調べる。 ②学校運営と密接に連携できる形態、地域の人材の有効活用の方策を確立する。	①8割以上の生徒が地域清掃に参加し、自己肯定感を高めることができたか。 ②学校運営協議会を年3回以上開催し、意見を集約することのできる機会を設けたか。
5 学校管理 学校運営	①職員の学びあいによる人材育成を推進する。 ②外部連携による総合学科高校としての充実を図る。	①総合学科の充実を図るために、職員構成に応じた業務分担を行うとともに、継続的に業務運営できるように引継ぎを工夫する。	①職員構成に応じた業務分担を行い、効果的な業務引継シートを作成し、事故不祥事を防止する。	①全職員が業務引継シートを作成し活用することにより、事故不祥事の件数がゼロであったか。

